



大阪市解体の住民投票(5/17)に「反対票」を！

◎ 「大阪都構想」について

- ① いわゆる「大阪都構想」は、政令指定都市である大阪市を5つの特別区に分割・解体し、その結果、大阪市を消滅させるいわば「**大阪市解体構想**」なるものです。
- ② 「大阪都構想」によって、**当初 4000 億円**のムダが省かれると言われていましたが、なんと**1 億円に激減**しています。これを受けて、本構想の発案者は“財政効果には意味がない”と開き直っています。
- ③ 当初特別区の権限・財源は中核都市並と言われていましたが、実際は**村以下の権限・財源**になることが判明しました。大阪市と言う政令市が消えてなくなります。
- ④ 「大阪都構想」の初期費用は、なんと**680 億円**かかると試算されています。
- ⑤ 新住所は今のところ、大阪府のままで「**大阪都**」という呼称にはなりません。「都」になるには多くの法律の変更と大阪府民の住民投票が必要になります。
- ⑥ 特別区になると、数々の**市民サービスの低下**が明白で、特別区によっては**福祉や医療の質が劣悪化**することが懸念されています。
- ⑦ 市民の声が届きにくいとされる「**一部事務組合**」という名の団体が府と特別区の間
に新設され国民健康保険や介護保険を始めとして100以上の業務を受け持ちます。
二重行政どころか、府、一部事務組合、特別区の**三層構造**を作り出します。

◎ 今回の住民投票について

- ① 「大阪都構想」は5月17日実施の住民投票で賛否が問われます。
賛成票が有効投票数の過半数だと、大阪市は消滅してその歴史を閉じ、逆に反対票が過半数だと都道府県にほぼ匹敵する権限を持つ政令指定都市として存続することになります。存続となれば今後どのように改革していくべきかを十分な時間と多くのエネルギーをかけて市民自治を念頭に審議していくことが可能になります。
- ② 2014年10月の大阪市議会・府議会で「**特別区設置協定書**」は**否決**されていたにも拘わらず、非維新議員を排除した法定協議会で再審議をすることを通じて、住民投票がおこなわれることになりました。
- ③ 今回の住民投票の投票率には下限が設定されていないため、**いくら少ない投票率でも、有効投票数の過半数が賛成票なら成立します。決まれば後戻りできません。**
(参考) 東京都の世田谷区、千代田区、新宿区などは現在も「市」にステップアップする運動をしていますが、法律がないので困難を極めています。

◎ 「大阪都構想」のねらいは何か

この「大阪都構想」の推進派は、その審議過程において、**手法が専横的、強権的**であるばかりでなく、その内容においても**欺瞞が多く**、大阪市民、大阪府民の側に立ったものとはとても言えません。

また、この構想の最終のねらいは、**大型開発とカジノ**にあるとも言われています。



緑の党グリーンズジャパン大阪府本部

〒569-1141 高槻市氷室町4-1-5 Tel 072-695-1313

HP <http://www016.upp.so-net.ne.jp/midorioosaka/>

